

令和2年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
大阪法律専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和元年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和2年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

浅尾 晃行 氏 独立行政法人国立病院機構 相模原病院 企画課 算定・病歴係長
銀杏 久子 氏 昇陽高等学校 進路指導部長
大杉 廣 氏 防衛省自衛隊大阪地方協力本部 中央地区隊 隊長
砂町 健太 氏 大阪市立井高野中学校 事務職員
花本 直和 氏 公益財団法人日本漢字能力検定協会 普及第二部 学習支援二課 課長

<事務局>

川地 守 大阪法律専門学校 校長
中山 利行 大阪法律専門学校 教務部課長
吉田 隆 大阪法律専門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>本学は、学校教育法に定める専修学校制度の趣旨に則り、文化教養に関する正しい知識と的確な技能を授け、もって職業や实际生活に必要な能力を養成し教養を向上させることを目的とする。これを実現するためにカリキュラムの編成や新学科の検討を行っている。理念・目的・育成人材像は、教職員・学生にも周知徹底しており、学外にも広く公表している。また、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって取り組んでいる。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学の特色は、国家公務員・地方公務員の行政職、および警察官・消防官・自衛官などの公安職に毎年採用されていることと、民間企業就職内定率が高いことである。これは本学独自の教育システムである「ゼミ学習」によるところが非常に大きい。</p>

	<p>ハ．理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p> <p>ホームページ掲載や教務室、受付での掲示、オープンキャンパスなどでの説明で周知している。</p> <p>ニ．各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>官公庁説明会および学内就職セミナー等で、官公庁および企業から回収したアンケートの回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を中心とした多岐にわたる業界や職種 のニーズに対応できる教育を実践している。しかし、ニーズに関しては今後も常に把握していかなければならない。 ここで各学科より学科の目的の説明があった</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>・専門学校への進学は就職に直接つながるものであるから、専門学校進学者の退学率が低くなっている。どのような内容を学ぶのか、それが社会でどのように役に立つのかを踏まえて今後もしっかりした指導をしてほしい。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ．目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>学園の基本目標として「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げており、教務室、事務室、就職相談室、受付などに掲示している。</p> <p>ロ．運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営するための組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っている。運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ．人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>給与規程、昇進試験制度が整備されており、昇進・昇給の基準を明確に定め、適正に運用している。</p> <p>ニ．教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職がしている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っている。理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、公務員企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。</p> <p>ホ．教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>公務員合格実績・民間就職実績において、本人の了承を得て採用試験名・氏名・出身校名を掲載しているのも真実であることをわかっていたからであり、毎年単年度の資料を作成しているのも現在の学校の実態を志望者や保護者に正確に伝えるためである。</p>

	<p>ヘ．情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システムおよび学籍管理システム）経理システムを個々に運用している。なお、就職部は求人情報と学生情報をデータベース化して業務の効率化を図っている。学務システムは仮想プライベートネットワーク（VPN 網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。</p> <p>基準 2 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合格速報などにより実績が明確になっていたため安心感をもって入学することができた。それゆえ、今後も情報の公開を適切にされることをのぞみたい。
<p>基準 3 教育活動</p>	<p>イ．教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>本学では、各学科の目標とする公務員採用試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験が終わる都度カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。</p> <p>ロ．教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>官公庁説明会および学内就職セミナー等で官公庁および企業から回収したアンケートの回答を基にした「社会が求める人材像」を学生に明示しており、学生が専門的知識や技術を持った上で、公務員を中心とした多岐にわたる業界や職種の人材ニーズに対応できる教育を実践している。各学科とも修業年限で「社会が求める人材像」のレベルまで達するようにしている。</p> <p>ハ．学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p> <p>カリキュラムは、年 2 回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において各学科で目標とする公務員採用試験の合格及び資格取得のために定期的に見直しを行っている。</p> <p>ニ．キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか</p> <p>専門知識や技術以外にもビジネスマナー、コミュニケーション能力などを育成するキャリア教育を実践するため、該当する授業科目を設置し、また官公庁および企業の人事担当者による説明会も実施している。平成 26 年度より文部科学大臣が認定する職業実践専門課程制度が発足し、本学 2 年制学科はすべて職業実践専門課程の認定を受け、企業・官公庁等と連携して実践的な演習を各学科で行っている。</p> <p>ホ．授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>学生による授業評価アンケートを実施し、授業システム見直しのための資料として活用している。また、学園内各校の代表者が巡回する各校見学会実施し、点</p>

	<p>数をつけて評価している。また、普段から他の教員の授業も教室に入って見学している。</p> <p>へ．成績評価・単位認定の基準は明確になっているか 学生の成績評価および単位認定については、その基準を明確に定め、学則、専門課程便覧などで学生にも周知徹底し、厳正に行っている。</p> <p>ト．資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか 各学科で目標とする資格・試験を明確に定め、その合格がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。そして、試験が終わる都度カリキュラム会議を開き、次回に反映させるようにしている。</p> <p>チ．人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか 学科の育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。</p> <p>リ．職員の能力開発のための研修等が行われているか 教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じての自己啓発研修や企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修に参加している。</p> <p>基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>・文章読解・作成能力検定は論理的に物事を考える能力の育成に役立つものであると考えるので、もっと活用をされるとよいと思われる。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ．就職率の向上が図られているか 本学では就職率100%を目指している。就職担当者と各担任が連携して学生の指導にあたっている。官公庁等への就職が厳しいと言われている中で非常に頑張っていて就職を決めている。また、本学の就職は基本的に正社員採用ということも特徴である。</p> <p>ロ．資格取得率の向上が図られているか 学園内各校と定期的に合格率向上のカリキュラム会議を開いている。本学独自のゼミ学習を行うことにより力をつけ合格実績を上げている。 ここで各学科より就職実績および資格取得実績の報告があった</p> <p>ハ．退学率の低減が図られているか 一人も退学者を出すことなく入学者全員を卒業させることが最終目標である。そのために担任をはじめ各学科の教員が学生全員に目を配り声をかけて退学率の低減に努めている。</p> <p>基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、学科ごとに次の意見があった。</p>

	<p><法律学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として周囲の人と円滑なコミュニケーションがとれるかどうかが大切なことである。学生は自分の考えに固執したり、また、わからないことを素直に聞けなかったりするので、実際に学生が志望する職場で働いている人の話を聞く機会を設けたりして、社会人としてふさわしいスキルを身につけさせるとよいであろう。 <p><法律ビジネス学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章作成能力は実際に公務員として働くのにあたって必要な能力である。それゆえ、文章作成能力検定で高い合格実績を出されているのは、日ごろの授業でもただ覚えるだけではなく、考えて解くという応用の部分をきちんと指導されている成果であり、公務員として必要な能力の育成がなされていると評価できる。 <p><法律社会学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・マシントレーニングの授業で注意していることは何か。 <p>【回答】怪我をさせないように気を付けている。また、警察や消防では筋骨隆々の体型が求められていないため、そのようにならないようにも指導をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察や消防のニーズにあった指導をされていると思うが、個人の健康管理が重要であるからその点を学生に意識させるとともに、個人の特性に応じた指導をしていったほうが良いであろう。 <p><行政学科></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政学科にはどのような学生が入学してくるのか。 <p>【回答】高校3年生のときに公務員試験を受験していたり、入学してすぐに公務員試験を受験したいという学生が入学してきている。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ．進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>公務員希望者には、クラス担任が公務員採用試験の出願から受験までの相談、指導を行っており、官公庁の人事担当者を招き官公庁説明会を実施している。民間企業希望者には就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、企業の人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施している。</p> <p>ロ．学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生は、いろいろな悩みを持っており、それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談をしている。</p> <p>ハ．学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>学生の学業を全うさせるため、経済的諸問題の解決を支援する必要がある。そのために、特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。</p> <p>ニ．学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p>

	<p>学校保健安全法に基づく健康診断を全学生に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>ホ．課外活動に対する支援体制は整備されているか 野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部などのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動が盛んであり、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしている。</p> <p>ヘ．学生の生活環境への支援は行われているか 遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要である。本学では学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト．保護者と適切に連携しているか 学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者に送付している。また、必要に応じて保護者と面談をし、その内容を学務システムに記録して学生の指導に役立てている。</p> <p>チ．高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか 高校等との連携は各種セミナーを通じ、公務員合格を目指す生徒を応援しているが、今後もさらに連携していく必要があると思う。</p> <p>基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>・学校が学生のためにさまざまな角度からいろいろな取り組みをしていることが分かった。今後も学生のための取り組みを充実させていってほしい。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ．施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか 設置基準に基づき教室、演習室、教員室、事務室などを設置している。維持管理については定期的な点検整備を行っている。</p> <p>ロ．防災に対する体制は整備されているか 防災指導者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を実施し、教職員及び学生に防災に対する意識の喚起を行っている。</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ．学生募集活動は、適正に行われているか 入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は毎年きちんと把握している合格状況や就職率に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。</p> <p>ロ．学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか 入学案内書やガイドブック作成にあたってはその内容や表現において真実性、明瞭性また法令遵守が必要であることを認識し広報を中心に作成している。そのために具体的な数字を示すことや合格者の氏名を公表することにより志望者や保護者からの信頼を得られる内容になっている。高校を卒業後すぐに入学される</p>

	<p>方が多いのでその点にこだわった表現にもなっている。</p> <p>ハ．学納金は妥当なものとなっているか 学納金に関しては学校の財政基盤の問題が出ないように適正かつ妥当な金額に設定されている。</p> <p>基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の意見があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校でもホームページをリニューアルしたことで資料請求の数が増えた。レイアウトの変更のほか、静止画だけでなく動画を入れたりすることで印象が変わるものである。また、リアルタイムで情報をあげることにより、入学希望者の増加につながるので、検討してみたらよいのではないか。
<p>基準8 財務</p>	<p>イ．中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか 少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。</p> <p>ロ．予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>ハ．財務について会計監査が適正に行われているか 私学振興助成法に基づく公認会計士による監査と私立学校法に基づく監事による監査が行われている。</p> <p>ニ．財務情報公開の体制整備はできているか 私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し公開している。さらにホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価された。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ．法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか 「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、教職員には毎年人権研修の受講を義務付けるとともに、その他必要に応じて研修等に派遣したり、資料を配布するなど、法令、設置基準を遵守するための施策として法令遵守規程を作成し実施している。</p> <p>ロ．個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか 個人情報保護に関しては、個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設定している。学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。また、教職員には規程の遵守はもとよりインターネット使用時の暗号化なども徹底し、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p> <p>ハ．自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>ニ．自己評価結果を公開しているか 本学では、「自己点検・自己評価委員会」を設置し、私立専門学校等評価研究機構の基準により点検、評価を行っており、自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開している。</p>

	<p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>・本協会ではプライバシーに関する研修を年4回ほど行っている。多くの個人情報が集まるので、そうした研修を行っている。教職員ひとりひとりの意識が大切であると思うので、プライバシーに関する意識を高める取り組みをされたらよいのではないだろうか。</p>
<p>基準10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ．学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ．学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ハ．地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>地域との連携、交流、諸外国の学校などとの連携、社会問題についての啓蒙などが社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点で、毎年大阪市立上福島小学校において「ふれあいコンサート」を開催している(令和元年度は工事のため中断)。このコンサートは吹奏楽部、和太鼓部が参加し、好評を得ている。学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。学生は近隣の道路清掃などを行っている。</p> <p>基準10についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>・専門学校は社会においてとても大きな役割を負っていると思う。アカデミックな学びと職業実践的な学びの両立を果たし、社会人が再度学ぶ場として受け皿となるような場所になってもらえればと思う。</p>

〔総括的な意見〕

様々な角度から考え、学生のために学校が取り組んでいることが明確となった。また、専門学校に対する理解がとても深めることができたので、さらなる連携を強め、互いに学生並びに社会のために協力していければと思う。